

家庭学習応援だより

第6号

先日は、学習発表会が延期となり、がっかりした方もいたのではないのでしょうか。21日(月)に、全学年実施する予定ですので、今度こそ、ご期待ください。また、今月末には二者面談がございます。学校生活や家庭での過ごし方について、担任との情報交換や相談の中に家庭学習が話題にのぼれば幸いです。

さて、今号はアンケートで要望が多かった。学校での学習の様子をお伝えしたいと思います。各担任から見た率直なところをお伝えしたいと思います。ただ、全体的な傾向ですので、児童個々に当てはまらないこともあるでしょう。個別の学習の状況を確認したい方は、二者面談をご利用ください。

コミュニケーションボード

1年1組の学習の様子

学習に向かう姿勢が育ちつつあるのを感じます。とくに、粘り強さが出てきました。ただ、取りかかりに差があるように感じます。

宿題はよくやってきています。きつと、おうちの方が、見てくれているのだと感じます。月例テストでは、家庭で取り組んでいることが分かり家庭の協力をありがたく感じています。国語は、カタカナの定着が心配です。漢字を学習し始めたこともあり、カタカナと漢字が混じることがあります。教科書上の巻末の「かたかな」を家庭学習で取り組むとよいと思います。

1年2組の学習の様子

授業には、積極的に参加しています。特に算数は、頑張っている姿が見られます。

ただ、国語の自分の考えを言語化するのが苦手としている子が多いようなので、授業で克服できるよう指導を心がけたいと思います。2学期になり、カタカナや漢字の学習が始まり、ひらがなの時よりもつまずきが見られることもあり、家庭での定着が必要だと感じます。子どもたちの宿題を見ていると、1年生の学習はおうちの方の協力が必要だと感じます。できるだけ気にかけてほしいです。

2年1組の学習の様子

4つの学校が統合し、学習の決まりが定着しつつあります。

月例テストに向けて意欲をもって、自主的な学習をしている児童が多いです。国語も算数も大事な部分を学んでいる最中なので、おうちの方のサポートをありがたく感じています。

漢字は、新出漢字が多く出てくる時期です。普段の生活でも学んだことを生かせるとういことです。算数のかけ算は、まだ学習前ですが、九九を言える子がおり意欲が感じられます。

2年2組の学習の様子

活動を取り入れた学習が好きな児童が多く、授業に積極的に参加できています。また、月例テストの学習には意欲的に取り組んでいる印象です。ただ、取り掛かり始めるのに時間がかかることが気になります。

漢字を苦手としている児童が多いので、家庭での学習は漢字練習に時間をとってほしいと思います。

3年1組の学習の様子

授業では、発想が豊かで積極的な発言が多く、話し合いが活発になるので、授業の姿勢としてはうれしく感じています。

ただ、書き言葉で表現することは苦手としている児童が多い傾向です。算数では、基礎的な力が十分ではないため理解を積み上げられない児童もいます。家庭学習は、家庭により取組に差が見られます。3年生は、まだまだ家庭の協力が必要な学年だと思っています。お子様の学習の様子を気にかけていただけるとありがたいです。

3年2組の学習の様子

授業には積極的に参加する児童が多く、特に、グループでの活動は好きですが、その前の段階の自力解決が苦手なのが気になります。月例テストでは、漢字を苦手としている子が多いですが、多くの児童が苦手を克服しようと取り組んでいました。算数は、既習事項が身についておらず、そのために割り算の定着が難しくなっているように思います。

授業以外でも、家庭で定着できる工夫はあると思います。例えば、掲示物や歌などで楽しく取り組める工夫ができるとういと思います。

4年1組の学習の様子

授業に臨む態度はとてもよく、ノートもしっかりとっています。発言する児童が徐々に増えつつあるので、もっと増やしていけたらと考えています。また、友達に教え合うことができるようになってきています。

家庭での学習は、宿題だけしかやってこない児童が多いので、ドリルなどを自主的にやってくるようになるとさらによいと思います。

4年2組の学習の様子

授業の雰囲気はよく、積極的に参加できています。やらなければいけないときはとても頑張りが効くのですが、続かないことがあるので続けられるとさらに伸びるのではないかと感じます。

家庭での学習量が足りないように感じます。学んだことが定着しないことがあるので、ご家庭の協力が必要だと感じています。

5年1組の学習の様子

授業では積極的に発言する児童が多く、発言の内容もよいので、他の児童の学びになっていると思います。グループでの学習では、調べ学習を協力しているので、伝える力も向上しています。

課題としては、下学年の算数の学習内容の抜けが気になります。時間があるときにドリルの解き直しやデジタルドリルで復習できるとよいです。

5年2組の学習の様子

月例テストを通して基礎・基本の定着が図られていると思います。また、授業では自分の考えや意見を表現しようという意欲が感じられます。読書活動も活発で、年間50冊を達成した児童が多いです。

ただ、個人によって学力の差を感じます。だからこそ、家庭学習50分に取り組んで、苦手を克服してほしいです。

6年1組の学習の様子

授業に意欲的に取り組み、明るい雰囲気です。授業に参加できています。グループ学習では、苦手な子にも声をかけて、みんなで学ぼうとする姿勢が感じられます。ただ、発言する児童が決まってしまってきたことが課題だと感じています。

家庭での学習は、宿題はやってきていますが、自主学習はあまりやっていないのが実情です。まずは量を気にせず、自主学習にも取り組んでみてほしいです。

6年2組の学習の様子

授業に積極的に取り組み、自分の意見を発表する児童も見られます。しかし、教科によっては発言が少ないこともあり、学習内容の定着にムラがあるように感じます。どの教科にも自信を持って発言できるようになるとよいです。

家庭学習では、自分なりの内容で取り組む児童が増えてきています。ただ、宿題だけの児童が決まってしまっています。中学校に向け、学習時間も増やしていく時期だと思います。今後は、子供達が学習時間を増やせるよう声をかけていきたいと思っています。

おわりに

学校生活の中には、知っているようで本当はよく知らないことがあるものです。今号は二者面談の話題に触れたので、ここでは「二者面談」についてQ&Aで考えていきたいと思っています。

Q. そもそも何のためにするのですか？

A. 子供への理解を深める貴重な機会です。家庭の方針や子育ての悩みなど、保護者が何を考えているかを把握できることは、子供の指導にプラスになります。

Q. どんなことを話せばいいですか？

A. 伝えること、聞きたいことをあらかじめ簡単にまとめておくのも手です。質問も「うちの子どうですか？」といった漠然としたものより、具体的にたずねると的確な回答が得やすくなります。

Q. どんなことに注意したらいいですか？

A. 前後のことも考えて、時間が延びてしまわないよう気をつけましょう。同じような理由で、当日のドタキャンは避けたいものです。また、頼りがいのある先生にはいろいろ話したくなりますが、いつの間にか自分の相談になってしまわないように注意しましょう。よその家庭を詮索するような質問も控えてほしいです。

学校では二者面談について職員間で共通理解をしています。保護者の皆様にも家庭と学校との信頼関係を高めるための情報交換の場であることをご理解いただき、短い時間ですが有意義な時間にしていただけたらと思います。